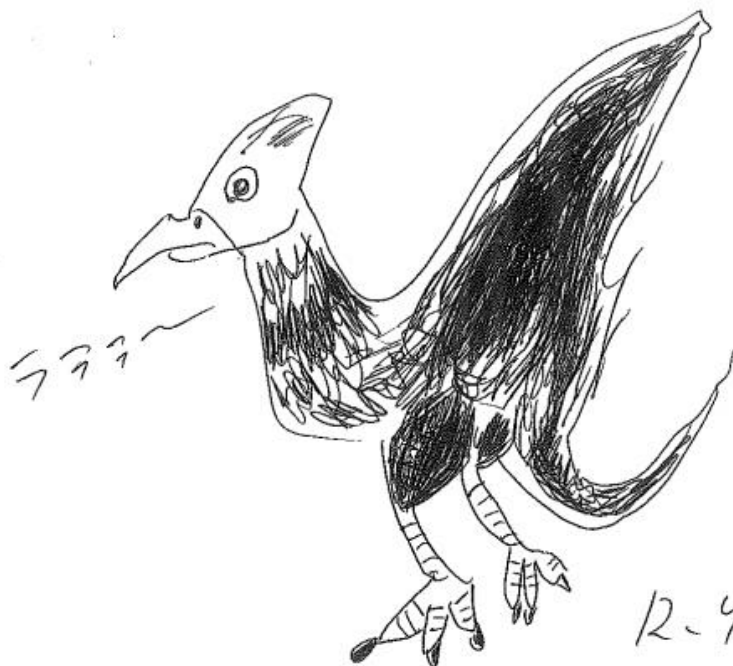


# KSKR

## 土曜日



NPO 法人つくし通信 No.56号

### 目次

1. 表紙
- 2.~3. 巻頭言
- 4.~6. メンバーのつぶやき
- 7.~8. コロナ禍、思うこと
9. つくしハウス自主製品について
10. 新職員紹介
  
11. 会費納入・寄付のお礼・お願い
12. 編集後記

<巻頭言>

コロナ禍になって思うこと

社会福祉法人 七野会  
生活支援総合センター聚楽 森田健也

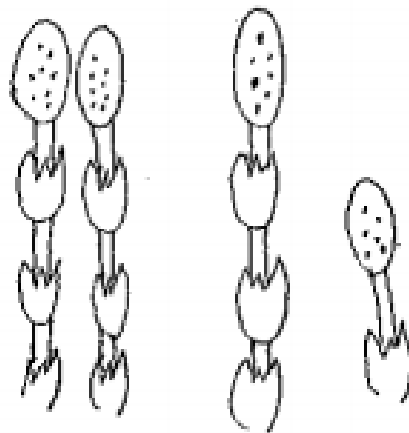
「生活支援総合センター聚楽」は高齢者福祉（介護保険事業）の施設の集まりで、上京区の3か所で5つの事業（認知症デイ、小規模多機能、ヘルパー、一般型デイ、ケアマネ）を行っています。母体は「七野会」と言うより「原谷こぶしの里」と言った方がご存じの方が多いでしょうか？「聚楽」とは「みんなが楽しく集うところ」という意味があります。そのような開かれた施設を目指し、地域の皆様のお役に立てるよう日々頑張っている最中、この春に新型コロナウイルス感染症の拡大が起きました。

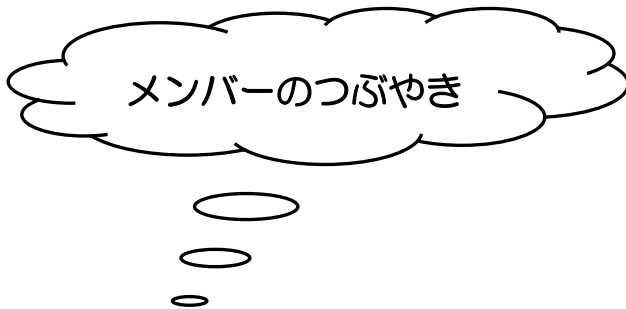
4月に緊急事態宣言が発令され、利用者さんや家族さん、現場の職員も混乱しました。不要不急の外出を自粛するように要請される中、我々がまず考えたのは「利用者の生活を守ること」です。感染予防を徹底しながら、国や府の指針を守り事業を継続しました。当初デイでは、府の指針に沿い利用自粛をお願いし、2割程度の方が利用を控えられました。すぐにこの方針は転換されましたが、一度利用自粛をすると、高齢利用者はなかなか元の生活には戻せません。ケアマネは、毎月義務付けられているモニタリング訪問が出来なくなり、電話等での対応となりました。このため普段なら自宅訪問で気が付けている利用者の小さな変化に気付かず、認知症や虚弱が進行し、結果として自宅での暮らし続けられなくなり入院や入所された方もおられました。

地域の行事も軒並み中止となり、大事にしていた地域との繋がりが全て中断しました。お祭りの参加や会議の出席、子供たちやボランティアの訪問などが無くなり、当事業所が開催していた「ヨガサロン」も休止中です。いかに地域の皆様に支えられ事業運営が出来ていたのか身に染みてよく分かりました。そんな中、つくしハウスさんと上京ワークハウスさんと共催している「津久井やまゆり園の障がい者殺傷事件の被害者を悼む～上京区の小さな集い～」は今年も開催しました。中止も考えましたが、我々福祉に携わる者は「伝え続ける義務がある」との思いに立ち返り、出来る方法を考えました。規模を縮小し、感染予防対策を徹底することで、一月遅れでしたが開催にこぎつけ、多くの方にご来場していただくことが出来ました。参加していただいた全ての方に感謝したいと思います。

事業運営は今も緊急事態宣言下と同じ対策を講じながら継続しているため、働く職員の負担やストレスは計り知れません。我々が援助している利用者の皆様は何らかの基礎疾患があり、感染すると重症化するリスクがあります。福祉では推奨されている「リモートワーク」は出来ません。人が接して、繋がらなければ利用者の生活は支えられません。世間では「go to ~」とたくさんの事業が展開されていますが、それとも無縁です。もしも予期せぬところで一人でも感染すると影響は甚大です。事業運営は当面休止、利用者の命も危険にさらすことにもなり、我々が大切にしている「利用者の生活を守る」ことが出来なくなります。そして最も恐ろしいのが世間の目です。言われのない差別や誹謗中傷が降り注ぎ、苦しむこととなります。本当に悲しいことです。

果たして今のこの風潮は正しいものなのでしょうか？我々は障がいや病気の有無、性別、年齢等にかかわらず「誰も排除しない、わけへだてのなく共に暮らせる地域作り」を願い取り組んできたはずです。しかし、このウイルスはいとも簡単に人の分断を生みました。今、我々が行うべきことは、このコロナウイルスを単に恐れることではなく、正しく理解し「正しく恐れること」です。多くの人が正しい知識を持てば、コロナによる差別は軽減していくと思います。再び「みんなが楽しく集える」ように学びを深め、今できることを考え、寛容な社会を作ることが必要だと思います。みなさんと手を携え、コロナに負けず、これからも一歩ずつ前へ進んでいけたらと思います。





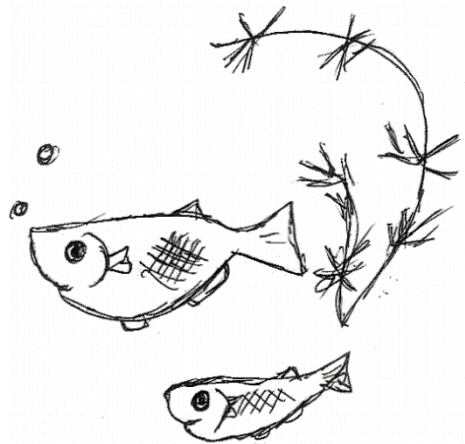
千本中立売のイズミヤデイリーカーナートのななめ向いに、ボナ・ペティという焼きたてのすっごくおいしいパンの店が、できました。定休日は、木曜日です。種類も、多くて、30種類位、あるかな。私も、ボナ・ペティの大ファンになりました。皆さんも、まあ1度、行って見て下さい。午前8時から、やっています。ねだんは、1つ120円です。ケーキより、おいしいよ。

隆子姫

「情舟」(歌詞) 中川 博

お金なんかいらわないわ  
あなたの優しい温もりが  
肌から消えたら寂しいの  
お酒を呑んで赤らめる  
私の気持ち分るのに  
つれない言葉はなんなのよ  
誰れかを求めてまっ赤な海に  
こいでゆくよ情舟

義理で語る人なのね  
分っているのよこっけいね  
あなたいい人甘えるわ  
体をやすめいたわれと  
そんなのホロリ泣けてくる  
働く姿が好きだよと  
まじめな言葉に女は惚れて  
こいでゆくよ情舟



## 1 人遊び

C

1 人で遊ぶって結構大事じゃないの

C

俺はギターで楽しんでる

G

1 人で遊んで楽しむっていいんじゃないの

C

大事な事、大事な事じゃないかな

G

C

G

C

俺は作曲して楽しんでる 俺は作曲して楽しんでる

C

1 人で遊ぶって結構大事じゃないの

C

俺は音楽で楽しんでる

G

1 人で遊んで楽しんでる

C

1 人で遊んで楽しむっていいんじゃないの

G

大事な事、大事な事じゃないかな

G

C

G

C

俺は曲ひいて楽しんでる 俺は曲ひいて楽しんでる

C

1 人で遊ぶって結構大事じゃないの

C

俺はギターで楽しんでいる

KOHEI



「ロちゃん都々逸 その十四」

中川  
博

○ 雪の白きがうらまじごと

神に祈れど ならぬもの

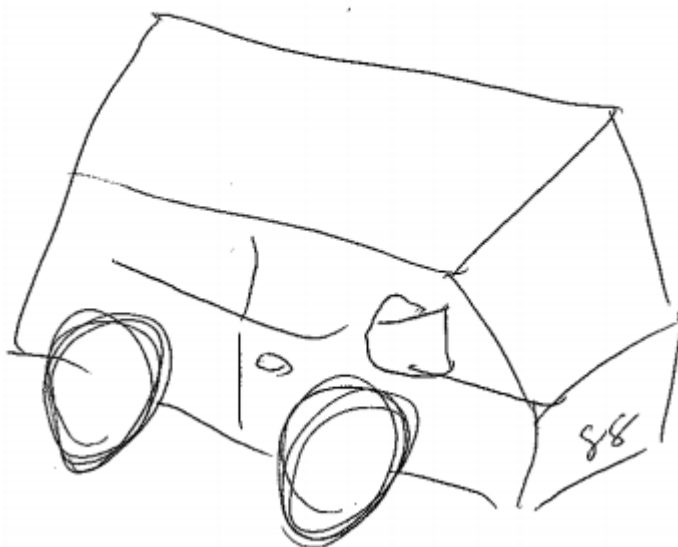
○ 酔ってみただけど空しいだけと

酒の文化 知らぬ人

○ 軽く一礼 寛ゆる像に

ふらね上手の寂しさを

R.Y



## コロナ禍、思うこと

土曜ニュース編集担当者から「コロナ禍、思うこと」を何でも良いから書いてくれ」と荒めの原稿依頼を受け、なかなか乗り気になれず、期日を大きく越えて、ようやく取り掛かることができました。

年明け、中国で大騒ぎになっている頃は「まだ他人事」。2月になって「つくしの岡山一泊旅行」が中止となった頃からようやく、身の回りでも、あれよあれよと、当たり前が、当たり前ではなくなっていることに、気がつきました。これまでは「3密(密集・密接・密閉)」が「日常」、「つながり」を活動の醍醐味にしてきた立場から言えば、コロナは厄介でした。マスクで顔の半分を覆い、表情が見えないなか、「手洗い！消毒！検温！換気！」が常套句になっていきました。

「ウィズ コロナ」とやらの世の中、頭に浮かぶのはどれも重苦しいことばかりで、気分が後ろ向きになってしまいます。何か少しでも、ほっこりできるようなことはないか、頭を振り絞りました。たくさんの方が亡くなって、たくさんの方が苦しんで、たくさんの方のあらゆる損失を被っているのに、そのようなことを考えてしまうのは、不謹慎かも知れませんが、ムリから、考えてみました。気分を害される方がおられたら、大変、申し訳ありません。

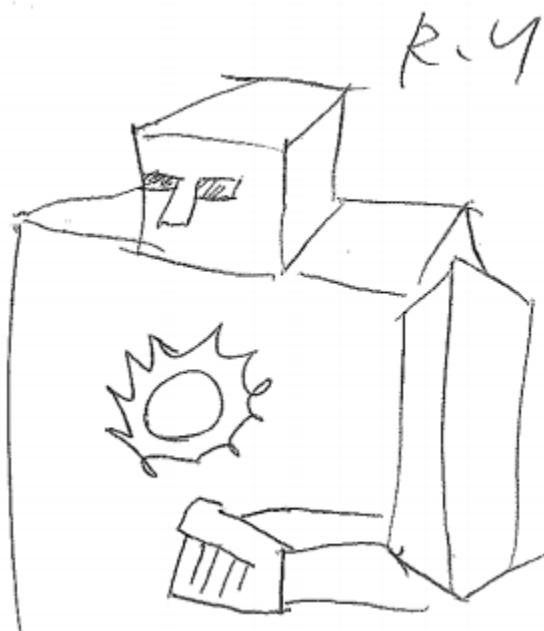
つくしは京都市の上京区内にありますが、私の住まいは京都府下、最寄りのバス停は大阪の枚方になります。そこから毎日、バスと電車、再びバスを乗り継いで、2時間弱をかけて、つくしに通っています。コロナ禍、感染症対策の一環として、4月からは公共交通機関ではなく、車通勤になりました。それまでの私の唯一の楽しみは、帰りに一杯呑むこと。でもそれも2月以降は全くなってしまいました。はじめは適応することが難しく、「コロナの弊害」とあきらめていましたが、今となっては、アルコールの量が減り、外で呑まない分、少々小遣いも貯まりました。併せて、体重も、8キロ増えました。通勤時間が2時間から1時間に減り、家にいる時間が増えました。家事を少しやるようになりました。お隣さんは、高齢女性で一人暮らしをされているのですが、週に三日ほど、21時くらいから、ますますの大音量で、歌を披露してくださいます。勝手に耳に入ってきます。最初は「ちょっと勘弁して欲しいな…」等々思うこともあったのですが、いつからか「そろそろ始まるかな？」と待っている自分がいたり、3歳の息子は「今日も歌謡ショーあるかな？」と、今では共通の話題になったりしています。民謡？というんでしょうか、

この数カ月、かなりの曲目を耳にしていますが、残念ながら、まだ一度も馴染みの曲に出会ったことはありません。お隣さんとはまだ挨拶程度しか交わしたことがないので、今回のことが、何かつながるきっかけになればいいな、とか思ったりもしています。

つくしでは、今春、1 カ月強の「通所利用 停止期間」がありました。6 月以降、現在も毎月シフトを組んで、「利用制限」を設けているような状況が続いています。でも、春先のその期間があって、改めて「つくしの存在意義」を再確認することができました。

つくしの活動をこれからも、前に進めていくために「自分自身を守ること」が「見えない誰かを守ること」につながっていくことと、信じて、寒い冬に向かっていきたいと思います。

（白坂）





## つくしハウス自主製品について

過去、自主製品に取り組んできたつくしハウスですが、私が入職した当時は、レターセットやアクリルたわしなど、様々な自主製品が衣装ケースに眠っていました。出展の案内が来ても、出す商品がないため見送り、ボーナスキャンペーンのお客様からも「オリジナル商品はないの？」とのお声をいただくなど、自主製品販売の再開が待たれている状況でした。そこで、まずは作業の閑散期に、気負いなく始められる自主製品に取り組んでみることになりました。

目指したのは、様々な作業工程があり、メンバーの誰もが関われる仕事。小さくコツコツ始めることになりました。しかし、やるからには売れるものを！と、デザインや雑貨に携わっている方に協力を求め、専門知識や技術を借りながら、2016年、木製クリップを完成させました。

完成後は販売です。初めての販売機会は関係機関の会議での出展でした。慣れない出展だったので、不備なことも多かったのですが、販売会場では、勤務を希望したメンバーさんがお客様とイキイキとやり取りしてくれました。おかげで、予想を上回る個数が販売できました。次の日の朝、売上報告をすると、メンバーさんから自然と拍手が起こりました。売上は少額でしたが、自主製品を作り販売する大きな喜びを分かち合えたように思いました。

その後、「フェルトソープ」「京ことばクリップ」「つくし手ぬぐい」「RINHONO ステッカー」など、少しずつ、品数を増やしました。コロナ禍の今は、「手作り布マスク」「アマビエ缶バッジ」を中心に制作しています。

常設店も「ハートピア京都1階喫茶ぴあ」「ハートプラザ三条」「ハートプラザ嵐山」と徐々に増えています。イベントは中止が多いですが、機会があれば、出かけていきたいと思っています。

手づくりのため、商品一つずつに思いがあります。お見かけいただいた折りは、手に取っていただけると嬉しいです。  
(今井)



## <新職員紹介>

はじめまして。

10 月より、つくしハウスで皆様と一緒に過ごさせていただくことになりました柴田美奈と申します。前職では主に事務職を担当しておりました。

好きなことは料理（最近はパン作りにはまっています）やアニメ、マンガ、舞台観賞です。

経験が無く不慣れな事が多々あり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、これからどうぞよろしく願いいたします。

（柴田）

10 月半ばから、つくしハウスでお世話になることになりました中村奈保子です。

週 2～3 回、2 階で働かせていただいております。

「つくしハウス」という名前を求人で見つけた時、「かわいい名前だなあ」と思い、そして何かピンと来るものがありました。実を言いますと、これがこちらに応募した一番の理由です。

目下、新しいことの体験の連続で、「へ～」とか「ほ～」とか言いながら過ごしております。

皆さまどうぞよろしく願いいたします。

（中村）

★いつもご支援、ご協力いただき、誠にありがとうございます★

★2020/8/1～10/31 までにご協力して頂いた方です。★

★総額¥126,566★

正会員の皆様	賛助会員の皆様	ご寄附・物品を頂いた皆様
機関誌『土曜日』に掲載	機関誌『土曜日』に掲載	機関誌『土曜日』に掲載

2020 年度 NPO 法人つくし 正会員費・賛助会費納入  
ご協力をお願い

NPO 法人つくしの財政は、皆様方の温かいご協力とお力添えにより支えられています。この場を借りて心からお礼申し上げます。正会員費・賛助会費の納入にご協力をお願い致します。

正会員費	2,000 円（年間）
------	-------------

賛助会費	1,000 円（一口）
------	-------------

※同封の振込用紙をご利用ください。□数、金額をご記入頂けますようお願い申し上げます。また、『土曜日』にご氏名を掲載することがございます。お手数ですが、（可・不可）のいずれかに○印をつけて頂ければ幸いです。

記入例：正会員費 年会費（年 2000 円）1 □ ¥2,000、

賛助会 会費（1 □ 1000 円）1 □ ¥1,000 寄附金 ¥2000 など

※すでにご協力頂いている方につきましても、振込用紙を同封させていただいておりますので、ご容赦ください。誠に勝手ばかり申し上げますが、ご寄附を頂ければ幸いです。

NPO 法人つくし つくしハウス

〒602-8141 京都市上京区堀川通丸太町上る上堀川町 114

TEL 075-366-6064 FAX 075-366-6065

Email onikai@iaa.itkeeper.ne.jp

HP <http://tsukushihouse.org/>

上京こころのふれあい交流サロン

〒602-8148 京都市上京区丸太町通堀川西入西丸太町 185 番地

京都二条ハイツ 202

TEL/FAX 075-755-7017

編集人 NPO 法人つくし

〒602-8141 京都市上京区堀川通り丸太町上る上堀川町 114

発行人 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺真田山町 2-2

東興ビル4階

定価 50 円

### <編集後記>

今号の編集を終えて、新型コロナが福祉の現場にどれだけの影響を与えているのかを改めて感じることができました。そしてこのような状況下だからこそ、我々が行わなければいけないことは何なのか、考え行動していくことが大事だと感じました。現場で起きていること、そしてみんなの思いを、これからも誌面を通じてたくさんの方に届けさせていただきたいと思います。（福万）

